

大会名：ビアンコーネヤマザキスポーツカップ U-8

日 程：平成27年5月2日(土)

会 場：須賀川アリーナ

参 加：キッズ長～J1クラス 5名

帯 同：佐藤コーチ

対戦相手：

対 ビアンコーネ U8 ●

対 鏡石 ●

対 白河 ●

結 果：4位

連休始まりの初日、ビアンコーネヤマザキカップ U8 に参加させて頂きました。

この U8 のカテゴリー学年で言えば小学2年生の戦いです。

やはり昨今の時代背景もあるのでしょうか、どこのチームも人数不足でどうしても試合が少なくなって来ていますので今回のこのような大会参加は特に小さい学年にとって大変意義のある活動と言えます。

さて試合は…。

結果的には全戦全敗と言うことになってしまいました。

ポイントとしては参加者が海斗君、遥生君、智仁君、悠斗君、陽介君の5名参加のため常にフル出場。

相手は、5名プラスアルファですので上手く試合に入れて試合を支配しつつあってもどうしても体力的に流れが行ってしまいます。

また他のチームは試合に慣れていました。

もしかしたら？学年が上かな？を思わせる試合への慣れや速さがありましたがそれはそれです。

また鏡石さんとは4名対4名の試合をやりましたが先取点を入れたのにもかかわらず試合を流してしまいました。

惜しい試合でしたが何かが足りなかったのでしょうか。

やはりこの世代は理屈で勝ち負けを評価するよりどれだけスポーツを楽しんでいるか？どれだけサッカーが好きか？どれだけクラブの仲間、友達と一緒に居たいか？など子供らしい部分で評価しなければ人としてはいい子は育ちません。

いい子供が育つからこそのご褒美、それが勝利だと考えています。

ただしそんな中でも選手達は選手なりに頑張っていました。

やったことないキーパーを選手全員で経験したりそこでもある選手とある選手は2回キーパーをかって出てくれました。

素晴らしかったのがやはり私は、ならなくちゃいいなと危惧していたケガをとうとう起こしてしまった時のことです。

日頃からなかなかボールを掴み取らないためにちょっぴり突き指。

キーパー交代しなければならぬ場面にその日のキャプテンは進んでキーパーをすぐさまやってくれました。

誰に言われることなく進んでです。

その後突き指選手はアイシングをして試合フィールド参加そのまま何とか戦ってくれました。

勝ち負けよりも大変な収穫をした瞬間でした。

人として何が大切かを瞬時に判断、キャプテンとして男を人間を見せてくれました。

こんな素晴らしい選手を育成しているクラブです。この気持ちは必ずやこのカテゴリー選手全員に伝わると信じています。

こうなれば本物の勝利が幾らでも手に入ることでしょう。

またある選手は抜かれた最後には身を呈してスライディング、スライディング、スライディング。

人一倍汗をかいてこんなにもスポーツがサッカーが仲間が好きな気持ちを表現してくれました。

今後を期待しちゃいますね。

初めての試合に選手全員口々に緊張した、走れなかった、負けても凄く楽しかった、またやりたいと言ってくれました。ありがたいことです。

チーム初得点も記録することができ負けはしましたが明日につながる何かは確実に降って来ました。

また連休明けから楽しくボールに触れてもらいながらスポーツが楽しい、サッカーが好き、仲間とずっと一緒に居たい、といった気持ちを深めて行けたらと思います。

連休初日のさぁ休みと言う貴重なお時間の中参加頂きまして保護者の方々大変ありがとうございます。

また熊坂コーチもシフト外の中、朝からキッチリ私達と仕事を共にしてくれて本当にありがとうございます。

これからもクラブに暖かい御理解と御協力宜しくお願い致します。

ありがとうございました。

コーチ：小松



